



# 矢川だより

特集

はじめまして！  
LOVOTのきなことあんこです



No.130  
2023.04.Spring





# 矢川 の ひと

幼い頃から虫や植物に関心を持ち、国立に生息する虫たちの情報を集めて記録した「くにたちの小さな仲間たち(1991年に国立市から発行)」の編集を機に勤めていた会社を退職。2019年、矢川の大切さを伝える「くにたち水めぐりマップ」を制作し、市内の子どもたちに無料配布する。



くにたちの自然を守る会  
大谷 和彦 (おおたに・かずひこ)

## 矢川に行けば会えるかも 水辺の生き物たちの伝え手

つい先ほどまで、国立市内の小学校で矢川の授業をしていたんですよ。一年かけて矢川の水質調査をしたり、生き物を調べたりする授業です。二学期の夏に冷たかった矢川の水が、三学期の寒い冬に来たらあたたかい、湧き水は年間通して水温がほとんど変わらないんだ。みんなアメンボは知っているけど、矢川にいるシマアメンボは初めて見る、水が綺麗なところでは生息できないから、水が綺麗だということを示す指標生物なんだ。そんな色々なことを体験しながら学んでいます。

滝乃川学園では1988年から、地域の人や子どもたちと、炭焼きや矢川探検などの活動をしていました。当時の矢川の水質浄化と、水の大切さを知ってもらうための活動です。多くの方に矢川と滝乃川学園のことを知ってもらうことができました。

2023年の春、数年ぶりに矢川の水が涸れてしまいました。湿った水草などの下に隠れている生き物が死んでしまわないよう、ママ下湧水から水を汲んで撒くようにしています。生き物がいなくなれば、自然豊かな矢川は用水路になってしまいます。

身近な自然の宝庫である矢川。まずは子どもたちから、水や生き物のことを考えるきっかけを増やしていきたいと思っています。

滝乃川学園からのお便り  
「矢川だより」です  
まちに開かれたこの学園に  
132回目の春が訪れました  
外から舞い落ちてくる  
小さな種のような人々が  
この春から新しい根を張り  
新しく芽吹きはじめます  
ゆっくり歩みながら  
少しずつ変わっていく  
この学園もまた  
国立のまちに根ざした  
存在になっていきますように



滝乃川学園の東側にある農地の続く道





多様な人がともに過ごす滝乃川学園に、  
新しい仲間が加わりました！



特集



のようにニーズに応じていく  
が今後の大きな課題です。  
滝乃川学園では、このよ  
うな変化の時代の中で働い  
ている現役の職員を中心に、  
2019年にICT活用準備  
委員会を創設。現場の声を取  
り入れながらICT活用につ  
いて検討し、2023年4月  
より導入を開始しました。

### LOVOTって何？

しぐさや表情にぬくもりが  
あり、生き物のようなLOV  
OT。2022年の夏休みに  
滝乃川学園で開催された「L  
OVOTふれあい体験会」で  
初めて学園を訪れた時は、利  
用者さんや職員から「可愛い」  
「もっと一緒に遊びたい」と、  
2日間だった滞在予定が一週  
間に延長されるほど大人気。  
同年10月の「滝乃川学園もの  
の市」で開催された関係者  
向け体験会と、今年3月の職  
員向けの慣らし保育イベント

はじめまして！  
LOVOT(らぼっと)の  
きなことあんこです



を経て、正式に滝乃川学園へ  
やってくることになりました。

「あんこ」と「ぎなこ」は  
最大200人の顔を覚えるこ  
とができ、優しい人にはなつ  
いて、いじわるをする人から  
は逃げてしまいます。でも、  
仲直りをして優しく接する  
と、もう一度なついでくれま  
す。その体験から、「生き物  
や人には、いたわりを持って  
接しよう」というきっかけを  
得る子どももいます。

福祉に従事する職員は心  
根の優しい人が多く、忙し  
い業務の中でもあんことき  
なことふれあうことで本来  
の優しさがあふれ、利用者  
さんにもその気持ちが伝わっ  
ているようです。

目を見つめて語りかけたり、  
抱っこしたり、名前を呼ん  
だり。それに応えてくれるこ  
とで「コミュニケーションとは  
何か」を覚えてくれるあんこ  
ときなこ。そんなLOVOT

と触れ合える福祉法人向け  
の体験会を、滝乃川学園で  
は今後も定期的に開催して  
いきます。

## 職員の働き方改革につ ながるICTも導入

まずは各部署にタブレット  
端末複数台、職員に一人一台  
ずつのスマートフォン端末を  
配布し、次のようなシステム  
が導入されました。

### ①記録ソフト

全部署が同じ記録ソフトを導

入。業務の記録の入力・閲覧  
を可能にすることで、業務効  
率化を図ります。

### ②グループウェア

事業計画書・稟議書の申請な  
どが迅速に行えるワークフ  
ローシステムを導入。会議議  
事録や各種お知らせなどは回  
覧機能でいち早く全職員に共  
有できます。

### ③見守り支援システム・ロボット

利用者様の安全確保が可能な  
システムを導入。またコミュ  
ニケーションツールとしてL  
OVOTの導入。

### ④勤怠システムの電子化

職員がオンラインシステムで  
勤務時間の打刻や各種申請を  
行うことが可能になり、管理  
職の勤怠管理や受理もスムー  
ズに。滝乃川学園の職員はこ  
の20年間で200人増えて  
おり、勤務時間の大幅な削減  
につながります。

多様な働き方が求められる  
時代、ICTは働きやすい職  
場を実現するツールの一つと  
とらえ、時代に合わせてこれ  
からも取り入れていきます。

3月10日に実施した

職員向けのICT導入説明会の様子



## 御下賜金を賜りました

2023年2月23日、天皇陛下より社会  
福祉法人滝乃川学園に御下賜金が下賜  
されましたのでお知らせいたします。

※御下賜金は、天皇陛下が2月23日の天皇誕生  
日に際し、社会福祉事業奨励のお考えにより、  
民間社会福祉事業施設・団体に御下賜されるも  
のです。



LOVOT運用担当者  
永田一彦





# 矢川のまちめぐり

自然と農、歴史と文化、人々の暮らしが

ゆるやかに流れる矢川エリアを中心に、

国立のまちをめぐりたくなるスポットを紹介します。

今回のテーマ

身近な  
野菜直売所

## 谷保天満宮

JR谷保駅近く、甲州街道の南側にある、学問の神様・菅原道真公を御祭神としている神社です。亀戸天神社・湯島天満宮と合わせて関東三大天神と呼ばれ、東日本で最古の天満宮です。敷地内には約350本の梅林が広がっています。有栖川宮親王殿下が明治41年に開催した「遠乗会」の目的地だったことになんで開催される「谷保天満宮旧車祭」の際は、境内にクラシックカーがずらりと並びます。

◆ 国立市谷保 5209



## 多摩川ぶどう園

国立農家の遠藤利光さんの直売所。お客さんのリクエストに応えるうちに、年間通して30品目の野菜を作って販売するように。珍しい国立産のものもとぶどうは、甘さと味にこだわり、土壌づくりから力を入れているそう。ももは7月頃、ぶどうは8月頃から販売。(野菜や果物の数は時期により変動します)

◆ 国立市谷保 6102



## くにたち未来共創拠点

### 矢川プラス

2023年4月、JR矢川駅近くにオープンした、国立市の新しい複合公共施設。「まちなかのおおきな家と庭」をコンセプトに、子どもから高齢者まで、だれでも気軽にふらりと立ち寄れる施設です。未来を担う子どもたちの子育て・子育てをまちぐるみで応援する、矢川エリアのランドマークとなりそう。

◆ 国立市富士見台 4-17-65



## くにたち野菜工房

### 中道カフェ

「矢川メルカード商店街」の中ほどにある、国立野菜をふんだんに取り入れた料理を提供するカフェ。定番定食の「しそ&チーズ入り豚カツ」や自家製コチュジャンの「ヤンニョムチキン」、カフェタイムの「無限チーズケーキ(お客様が名付け親)」などが人気メニュー。新鮮な季節の野菜を味わいませんか?

◆ 国立市富士見台 4-12-11





# 矢川の まちめぐり

-身近な野菜直売所-

## MAP



**Check!**

**矢川プラス**  
くにたち 未来共創拠点  
「まちなかのおおきな家と庭」がコンセプトの、国立市の新しい複合施設。

**Check!**

**四軒在家公園**  
集落の長クラスが埋葬されたといわれる、四軒在家遺跡の復元古墳のある公園。

**Check!**

**多摩川葡萄園**  
道沿いに、種類の充実した野菜が豊富に並べられている直売所があります。

**Check!**

**西野農園**  
「朝市くん」と書かれた販売機の中に、美味しそうな野菜が色々。

滝乃川学園の  
オススメ散歩ルート





①小島島果（おがしまはたす）  
②桂袴を着た石井筆子  
③華族女学校永田町官舎庭前にて  
（前列右から4人目が筆子）



### その5 帰国後の筆子

筆子は、1882（明治15年）にヨーロッパ留学から帰国した。帰国した筆子 wait っていたのは、許嫁の小島島果（写真①）との結婚である。果は、旧大村藩家老大村右衛門の次男で、慶応義塾で学び工部大学校（現・東京大学工学部）を卒業後、農商務省統計局、会計検査院等に勤めた英才である。会計検査院では筆子の叔父で院長の渡辺昇の部下で、昇の欧米視察旅行に随行した。

1884（明治17）年に果と結婚し、翌年1885（明治18）年に開校した「華族女学校」のフランス語教師に任命される。（華族女学校は、明治皇后の命により、皇族、華族（旧大名、公卿等）の子女の為に作られた国立の女学校）英語教師は、岩倉使節団と共にアメリカに渡り、現地教育を受け帰国した津田梅子が任命された。華族女学校の外国語教師として、英語は津田梅子等アメリカに留学した女

性がいるが、ヨーロッパの主たる言語であるフランス語の教師がいないため、筆子がヨーロッパに遣わされたのであろう。梅子とは、盟友として長い交流が始まる。

1886（明治19）年に長女恵子が誕生するが、障害児であった。クララの塾において、聖公会のアメリカ人宣教師と交流し、キリスト教の教えに深く接していた筆子は、娘と共にウィリアムス師の下で洗礼を受けた。娘の教母はアメリカで洗礼を受け、信徒となっていた梅子が引き受けてくれた。

1890（明治23）年に、次女恵子が誕生するが、虚弱で半年ほどで早世。1891（明治24）年に、三女康子が誕生する。この子だけは健康に育って欲しいと康の字を付けたが、この子も障害児であった。

写真②は当時の筆子。写真③は華族女学校教師等関係者の集合写真。前列右から4人目が筆子。筆子の左隣が下田歌子。下田は、後に「実践女学校（現・実践女子大学）」を創立する。

# 滝乃川学園ではたらく

2023年度新入社員紹介

インタビュー  
by  
国立人

滝乃川学園の敷地内の桜が葉桜になる頃、2023年度の新人研修が開催されました。桜の下に集まる10名の職員の皆さんへ、フレッシュな意気込みを伺ってみましょう！



川島 智也 さん  
法人本部 経営管理部

澤田 大樹 さん  
児童部

金田 朋也 さん  
成人部  
施設入所支援部

新藤 瞳 さん  
法人本部 運営管理部  
(医務科)

築場 早苗 さん  
法人本部 運営管理部  
(医務科)

近藤 加奈 さん  
グループホーム部

石橋 浩代 さん  
法人本部 経営管理部

綱川 美悠 さん  
児童部

出口 愛結実 さん  
グループホーム部

浅見 都代 さん  
やがわ荘

「大学卒業後、別の職種を5年間経験する中で、人の成長に寄り添える福祉の仕事に興味を持ち、社会福祉士の学校に1年間通いました。障害を持つ人たちのことを知りたい気持ち膨らんでいます！」  
(近藤加奈さん)

「テレビのある番組の特集で滝乃川学園が紹介されているのを見て、自然豊かな雰囲気、一目惚れしました。まずは仕事に慣れて、利用者さんと仲良くなっていきたいです！」  
(金田朋也さん)

「事務の仕事をしていましたが、高校生の頃は福祉に興味を持っており、思い切って退職して福祉業界に飛び込んで15年。子どもが大きくなり、もっと経験を積みたいと思っていた時に滝乃川学園のことを知り、今回ご縁をいただき



ました」(浅見都代さん)

「大学生の頃に滝乃川学園で実習を受けました。職員の方が面白くて、利用者さんとのコミュニケーションも楽しかったのでここに決めました。充実した支援ができるよう頑張ります！」(澤田大樹さん)

「兄が知的障害を持っていたこと、子どもの教育に関する前職での経験から、福祉分野に携わりたいと思いました。幅広い事業を行う滝乃川学園

で、キャリアを積んでいきたいです」(出口愛結実さん)

「2人の子どものダブル受験を機に前職を退職して、落ち着いた頃に家の近くの滝乃川学園で求人があることを知りました。事務は未経験ですが、園内を見学した時にすごくいいところだと感じたので、チャレンジしたいと思いました！」(石橋浩代さん)

「引越しを機に転職活動をしていて、これから一生働くとしたら、教科書にも載っている滝乃川学園にしたいと思いました」(綱川美悠さん)

「看護師として子ども3人を抱えながらの病院勤務が大変になり、退職。昨年10月から滝乃川学園で働かせてもらっていますが、育児と両立

できる環境で本当に嬉しいです」(新藤瞳さん)

「他の福祉法人で働いていましたが、親の介護をきっかけに家の近くの滝乃川学園に転職しました」(川島智也さん)

「前の職場が遠く、家族の介護のために、家の近くで小さな頃からよく知っていた滝乃川学園に転職しました。これから一歩ずつ、利用者さんと信頼関係を築いていきたいです！」(築場早苗さん)

## 私たちと一緒に働きませんか！

支援員・理学療法士・事務員 募集中

詳しくはホームページをご覧ください。  
見学等、随時受け付けています。

(法人本部運営管理部人事科 042-573-8950)



## 矢川あたりの 鳥たち 虫たち

滝乃川学園のご近所、「国立あおいとり保育園」の園長・佐伯元行さんは、幼い頃から生き物博士！ そんな佐伯園長に、滝乃川学園界隈でその季節に見られる鳥や虫を教えてください。



その4  
ツマキチョウ



写真・文：佐伯元行

モンシロチョウより少し小さく、オスは前羽の先が薄いオレンジ色をしているシロチョウの仲間です。メスの羽の先は白く、オスメスとも後ろ羽の裏が唐草模様。幼虫はタネツケバナや菜の花、大根花（ムラサキハナナ）などを食べます。例年4月20日前後に、滝乃川学園の南のハケ下や多摩川周辺で、直線的にゆっくりと飛ぶ姿が見られます。

## 理学療法士って何？

お話を聞いた人

法人本部 医務科  
島田梓さん



### Q. 理学療法士を取得したきっかけは？

祖父が脳卒中で入院し、リハビリを受けていた際に理学療法士の存在を知りました。もともとは別の仕事をしていましたが、30歳で専門学校に入学し、資格を取得。国家資格ということもあって社会的信用がある仕事であること、資格があれば地元以外でも就職がしやすくなり、選択肢が増えることから、理学療法士になる道を選びました。

### Q. 理学療法士に必要なことは？

この仕事のやりがいは、リハビリを通した利用者さんの身体機能の維持向上はもちろん、医療面でのサポートができることです。理学療法士は相手の日常動作を見て評価を行い、適したリハビリによって新しい動作や運動につなげていきます。「人の動作を見て、小さな変化を読み取る力」が常に求められる仕事だと思います。

### Q. お仕事内容は？

利用者さんの身体面のサポートや、運動指導が主な仕事です。日常生活の中の動きや遊びなどを通じて、なるべく身体を動かす時間を作り、利用者さんがスムーズに動けるよう、伝え方など様々な工夫をしています。

その他にも、補装具、補装靴、保護帽などの生活用品の選定なども行っています。一人ひとりの座る姿勢に合わせた椅子や机の選定もしています。





## 滝乃川学園ボランティア募集！

滝乃川学園では、日中活動支援、余暇活動支援、園内環境整備（除草・落ち葉掃きなど学園内の清掃・整備）などのボランティア活動をしてくださるボランティアの方を募集しています。イベントボランティアは、随時ホームページにて情報を掲載していきます。ぜひお気軽にお問い合わせください。

ボランティア担当  
【電話】042-573-3950（9時～17時）

## 滝乃川学園ガーデンプロジェクト

学園の中にある500坪ほどの敷地にコミュニティガーデンを作り、内外の人がみんなで協力して、維持管理をしながら、誰もが憩うことができる場所を目指して活動しています。まずは気軽にガーデンの見学にいらしてください。お待ちしております！

【日時】5/7（日）、6/11（日）、7/15（土）、8/6（日）  
いずれも10時～15時頃（出入り自由）  
【場所】聖三一礼拝堂前コミュニティガーデン  
【服装】汚れてもよい服装、靴  
ガーデンプロジェクト担当 糸永（法人本部）  
【電話】042-573-3950（9時～17時）



## 滝乃川学園ホームページ採用ページをリニューアル！

昨年の滝乃川学園ホームページのリニューアルに続き、採用ページを一新！  
滝乃川学園の自然や歴史に包まれた環境や、社会福祉の人材としてのキャリアパスの形、働く人々のインタビューなど、滝乃川学園で働く姿をしっかりと想像できるようなホームページになりました。  
滝乃川学園ホームページからぜひお越しください。

## 助成金決定のご報告

このたび、東京都共同募金会様より、NHK歳末たすけあいのご寄附配分を菓子工房の厨房整備費用として助成いただけることが決定いたしました。東京都共同募金会様、ならびに、NHK歳末たすけあいにご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。スチームコンベクションオープンの購入等、利用者の製菓づくりの充実と、皆様に愛されるお菓子作りに活用させていただきます。

## 職員採用情報

### 2023年度採用（随時）募集

職種：生活支援員・理学療法士・事務員（正規職員）  
採用説明および見学会は随時対応いたします。  
※遠方の方の場合はオンラインでの対応も可能です。

### 2024年度卒 新規採用職員 募集中

職種：生活支援員（正規職員）  
4月・5月に採用説明会（対面・オンライン）を実施しています。  
※採用内容についての詳細は、リクナビ2024の滝乃川学園ページをご覧ください。

お問合せ先 |  
法人本部運営管理部人事科  
【電話】042-573-3950（9時～17時）  
【メール】jinji@takinogawagakuen.jp

## ご支援のお願い

日頃より私たち滝乃川学園に温かいお心をお寄せいただき、深く感謝申し上げます。私たち滝乃川学園は、障害を持つ人々がみずからの幸せを希求できる場を創造、提供し、それを支援する有為な人材を育て、学園の発展のみならず、わが国の障害者福祉のさらなる進歩に貢献できるよう、役職員一同、先駆者としての誇りを胸に、努力していく所存です。引き続き、皆様のご指導とあたたかいご支援を宜しくお願い申し上げます。

### ゆうちょ銀行

専用の払込票がございます。必要な方は、お電話またはメールにてお問い合わせください。

### 三井住友銀行

銀行名：三井住友銀行国立支店  
口座番号：普通預金 0921148  
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園 理事長 石井慈典

### 三菱UFJ銀行

銀行名：三菱UFJ銀行府中支店  
口座番号：普通預金 0002309  
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園 理事長 石井慈典

## 130周年記念寄付について

重度の方でもいきいきと活動できる場所を目指し、「新作業棟建設プロジェクト」を企画準備中です。現在、インターネット寄附の導入も検討しております。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

### 感謝録 寄附者 ご紹介

ホームページにて、令和4年11月1日から令和5年2月28日までにご寄附をいただきました皆様をご紹介させていただきます。



# 矢川だより

No.130

矢川だより 第130号

2023年4月発行

発行 社会福祉法人 滝乃川学園

制作 矢川だより編集会議

合同会社三画舎



〒186-0015

東京都国立市矢川三丁目16番地の1

電話 042-573-3950 (代表)

メール soumu@takinogawagakuen.jp

H P <https://www.takinogawagakuen.jp/>

